

2025 年度 第 2 回 ピットフォール研究専門委員会議事録

日 時：2025 年 10 月 24 日(金)19:00～19:40

場 所：Zoom による Web 会議

出席者（敬称略）：中野恵一（北海道大学病院）、阿部雅仁（栄研化学株式会社）、上田一仁（関西医療大学）、川崎健治（千葉大学医学部附属病院）、土筆智晶（北里大学病院）、脇 雅宏（ニッポーボーメディカル株式会社）、長田 誠（国際医療福祉大学）、中沢隆史（日立ハイテク）、清宮正徳（国際医療福祉大学）、三好雅士（徳島大学病院）

欠席者（敬称略）：菅野光俊（福島県立医科大学）、石嶺南生（信州大学医学部附属病院）、小島和茂（日本電子株式会社）、細羽恵美子（東京女子医科大学病院）、濱田悦子（文京学院大学）

【報告事項】

1. 事例集・相談窓口一覧の更新について（三好）

2024 年 11 月に相談窓口対応事例一覧、2024 年 5 月に事例集を更新、HP へ掲載した。

2. ピットフォール症例解析マニュアルについて（三好）

2025 年 7 月に「ピットフォール症例解析マニュアル ～異常事例の発見から解析まで～」を学会誌臨床化学 Vol. 54 補冊 No. 1（2025）として公開した。

理事長のご高配により、学会員以外に対しても無料閲覧を継続する。

3. 委員会からの挑戦状（ニュースレター）について（三好）

2024 年 10 月～2025 年 8 月に、ピットフォール研究専門委員会からの挑戦状（PiRC）として 1 症例目を 3 号に分け、ニュースレターとして配信した。現在 2 症例目第 1 号まで発行。

2 症例目第 2 号：2025 年 12 月、第 3 号：2026 年 2 月発行予定。

4. 第 65 回年次学術集会シンポジウムについて（中沢）

担当者：石嶺委員・中沢委員

11 月 9 日（日）9:00～11:00@ウイנקあいち

当日前に各シンポジストの発表資料を入手予定。それらを勘案し、フロアから広く意見を収集できるよう進行する。

当学会非会員である赤羽先生（東京科学大学病院）について、旅費精算のための旅程を確認する（10 月末まで）。

5. 学術連絡会議報告（三好）

- ・2026 年度検査医学会共催シンポジウム（2026 年 12 月 17 日～20 日@幕張メッセ）

担当委員会を吉田先生が検討中 → リボ蛋白検査専門委員会が担当すること。

- ・勧告法総集編 2026 年度版を発刊予定

2012 年度版・2020 年度版を統合、新情報を追加の上、製作する。

執筆依頼があった場合は対応をお願いしたい。
担当は堀田先生。

6. その他

相談事例のまとめを 11 月中旬目途に取りまとめ。進捗状況を反映し、完成次第アップデート。

【協議事項】

1. 第 65 回年次学術集会シンポジウム後の出張相談室について（三好）

11 月 9 日（日）11:00～11:30

シンポジウム終了後に前に集まっていたくなどアナウンスし、中野先生・三好で受付

→ 各先生に振り分ける。

受け付け・相談内容を記録する用紙を準備、委員に配布しておく（三好）

2. 事例集の追加について（三好）

事例集を公募制にしてはどうかとの提案あり。

委員で内容確認するが、論文化されているものに関しては問題ないのではないか。

現状、掲載されている文献は少なく、事例に遭遇した際によりどころとして十分ではない。同じように活動している学会・委員会との協働も可能ではないか。内容の充実により委員会の広報・アクセスの増加にもつながる（清宮先生）

公募制については委員会一致で承認。

どのように公募するか？

相談窓口と同様に委員会 HP へフォームを埋め込めないか。論文名などを入力し送信。

→ 受付されれば委員会へメールが届く。

難しければ Google フォームのようなものを配置するか？

→ 学会事務局に対応可能か確認する（三好）

- ・公募となることをシンポジウム時に周知する。
- ・ニュースレターなどを利用し会員へも周知する。

3. その他

2024 年に当委員会へ相談されていた「高濃度リン脂質によりカルシウムが偽低値を呈した症例の解析」が、論文に掲載された（医学検査 2025；74(4)：772-781.）。

2027 年度・年次学術集会（大阪）2027 年 9 月 3 日～9 月 5 日@大阪国際交流センター
報告会以外にもう 1 個シンポジウム枠（マニュアルの解説など）

次回委員会：2026 年度 4 月頃に WEB にて開催予定。

以上